ブロック名：江別ブロック

新型コロナウイルス感染症の対応について

《養護教諭の実践・支援》

児童生徒の様子 （感染症に関わって）	・微熱があると、大事をとって休む。 ・体力テストの結果が低下。 ・休校明け、すぐに 6 時間授業になったため疲れが見られた。 ・コロナに対して恐怖心を抱く子どもがいた。（みんなとものを共有することを心配したり、手洗いばかりしている子どもなど）⇒7 月からはいない。
児童生徒への指導	・低中高、1 時間程度の保健指導⇒放送による指導、新たな生活様式について。（手洗い・ソーシャルディスタンス・飛沫感染・免疫力について等） ・保健だよりによる指導。 ・4 月の学校再開時と 6 月の学校再開時に、全校生徒に対してパワーポイントを使って保健指導を行った。 ・学校での過ごし方について、学級で掲示できるような資料を作成した。
家庭・教職員への情報発信	・家庭には保健だよりで、学校で行うコロナ対策（消毒など）について記載。 ・教職員には、文部科学省からの通知を参考に、学校で行う感染症対策を簡単にまとめて配付。
その他	・朝の検温については、登校前に家で検温をしてくることとし、忘れてきた児童は保健室で測定する。

《各校の現状》

校内の消毒方法	・教室は担任、特別教室や特別区域はその清掃担当者がよく触る部分（ドアノブ・スイッチ・手すり等）を消毒。 ・放課後に、先生方で分担して校内を消毒。 ・アルコール、ペーパータオルを使用。 ・教室（机・ドアノブ）、トイレ、手洗い場、体育館（ドアノブ）、手すり、特別教室（理科室・図書室など）を消毒。 ・スクールサポートが入り、消毒を行ってくれる学校もあり。（8 月交流） ・学校の生活様式 vol3 に伴って、消毒方法を変更する学校もあり。（8 月交流）
清掃活動の対応	・掃き掃除のみ子ども、雑巾がけは担当教師が行う。 ・トイレ掃除は、便器ブラシと雑巾での拭き掃除は担当教師が行う。 ・掃除後の手洗いの徹底と、トイレ掃除の際使い捨て手袋を用意。 ・自分の机をエタノールで拭いて帰る。（ハンドペーパーとエタノール） ※8 月に清掃について再度交流した際には、通常通りの清掃に戻っている学校が多かった。
給食の対応	・健康管理表を用意。 ・配膳前に、各自自分の机を拭く。 （おしぼり、ウェットティッシュなどを持参する子どももいる。）

	・4 月再開時は、担任が盛り付けと配膳。6 月再開時は、子どもが盛り付けと配膳。 ・とっさに咳やくしゃみが出た時のために、机にハンカチを置く。
健康観察シートの対応	・教室で担任が健康観察。 ・担任は体温未測定、健康観察シート未提出の子どものチェックを行い、養護教諭が毎日集めて確認、返却。 ・1 週間記録できる分を月曜日に配布、次の月曜日に 1 週間分記録して提出。 その後、2 週間に 1 回の提出に変更。 ・使用していない。
保健室来室者の対応	・最初、具合が悪い人はベッドで休養させずに帰宅してもらう形にしていたが、現在は、熱がない子は保健室で休養させている。いつもより体温が高い子は帰宅させるようにし、保護者が迎えに来るまで別室待機。
熱中症対策	・タブレット、経口補水液を購入。 （ごくごく飲める場合はそのまま与えるが、飲めない場合には与えない） ・各学級に 2 台ずつ扇風機を購入。 ・職員室に暑さ指数を掲示。 ・水筒を持参し、夏休み中の登校日は授業中に飲むことを許可。
教育委員会の対応 （必要物品の配布等）	・アルコール（ジェル）、非接触体温計、扇風機、使い捨て手袋、フェイスシールドが支給された。 ・健康診断用のアルコール、手袋、マスク、フェイスシールド、CPE ガウン等が支給された。
その他 ⇒旅行的行事対応 （８月交流）	・体温計、ペーパータオル、ファブリーズなど持参の指示がでたところがある。 ・ネイパル砂川へは、消毒薬を持参し、スイッチ等を消毒。体温計は各自持参。 ・車を出した学校もあり。 ・バスは、1 クラス 2 台使用する学校が多いが、1 クラス 1 台の学校もある。 ・バス乗車前にはアルコール手指消毒。（バス会社が用意しているものを使用） ・バス内でのレクはしない学校が多い。最近のバスは、5 分で換気されるためクラスによってはレクありの学校も。 ・車内での飲食中は、マスクを外しているためおしゃべりは禁止。 ・旅行先にて発熱した者は隔離し、熱が下がらない場合は保護者の迎えを待つ。 ・熱が下がらない時や 37.5 度以上ある時は、離脱させる。 ・離脱に関わっては医療機関を受診のうえ、医師の診断と指示を仰ぐ。 （事前に保護者への通知が必要） ・保健所からは、発熱者の移送手段としてタクシーを使用しないでほしいとのこと。 ・グループ研修は、コロナ対策として教員も帯同。

《今、困っていることや交流したいこと》

・長い臨時休校の影響で、生活習慣が乱れたり、体力低下が見られたり、心の不調を訴える児童がいる。

※主に、６・7 月に交流したときの内容です。各学校や小学校・中学校でも対応の仕方が異なるため、あくまで、このような対応をしている学校があります、ということで載せています。